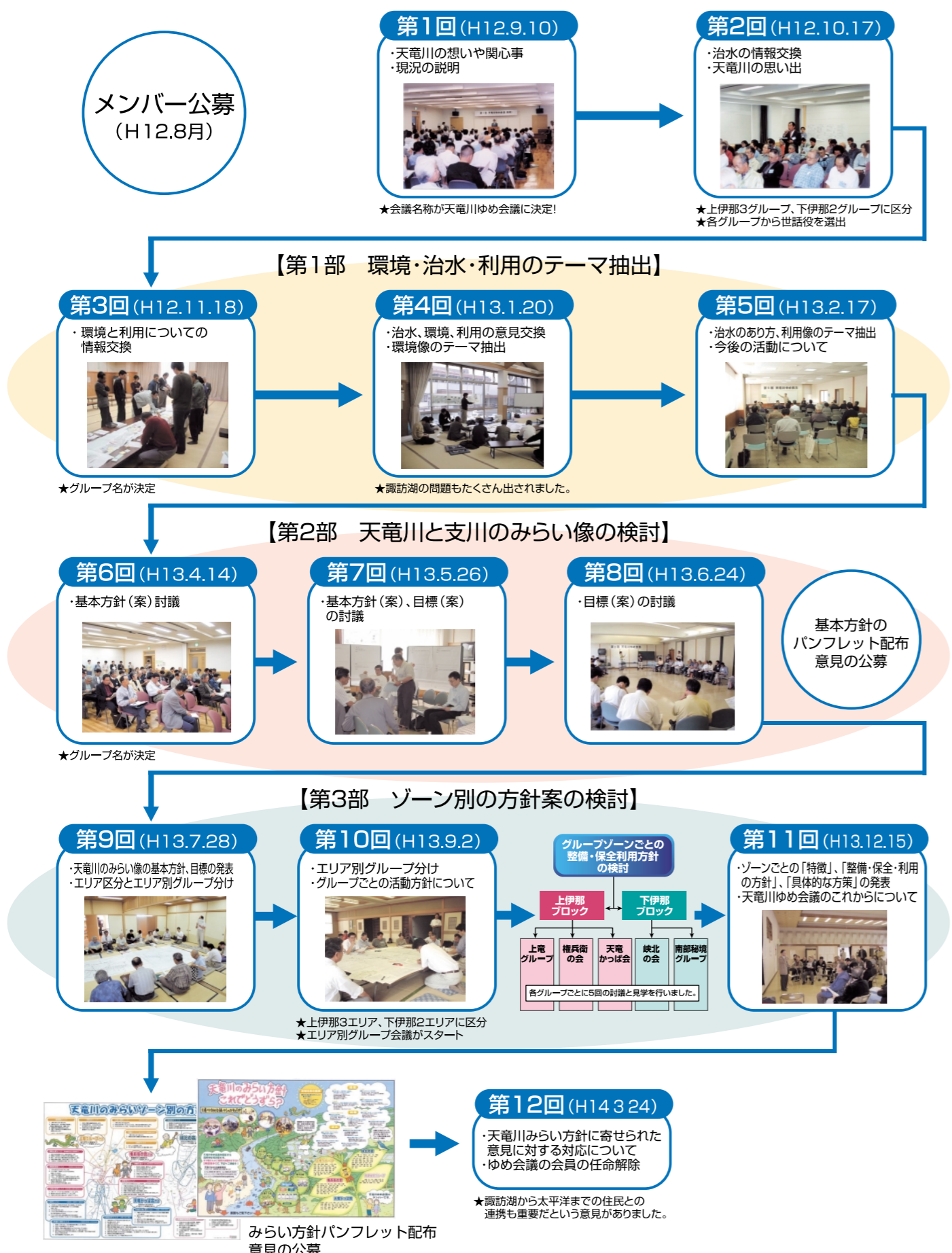


天竜川ゆめ会議のこれまでの歩み



天竜川ゆめ会議から “諏訪湖周辺”と“県境より下流” の流域のみなさんへ



私たち「天竜川ゆめ会議」では、当初より釜口水門から長野県境までの範囲で、天竜川のみらい像を検討してきました。しかし、議論の中では、天竜川の源である諏訪湖の話題がたびたび上がっていました。さらに、県境から太平洋までの天竜川への思いも、様々な形で出されていました。

私たちは、「天竜川みらい計画」を限定された検討範囲の中で作り上げましたが、上流の諏訪湖周辺の人々や県境より下流の流域の人々とも、手をたずさえて行動していきたいと思っています。環境のこと、治水のこと、川の利用のこと、そして天竜川に生まれた文化のことなど、多くのことについて、同じ天竜川流域に住まう者が連携していけたら、どんなにすばらしいでしょう。

天竜川ゆめ会議は、最後に呼びかけたいと思います。私たち天竜川流域に住まう者として、諏訪湖から太平洋までの天竜川全体のみらいを連携して描いていきましょう。そして、みなさんそれぞれの場所で、“ゆめと愛と責任を持って”母なる天竜川を愛していこうではありませんか。

天竜川ゆめ会議
平成14年3月

この冊子をご覧になった皆様へ

天竜川ゆめ会議では、天竜川が好きで集まった人それぞれが考え、話し合い、この「天竜川みらい計画」を作りました。最後に皆様へ、当然のことであり、大事なことをあえて書かせていただきます。雨は湖や川の源です。川は海の源です。海は雨の源です。水は循環しています。私たちは、水の循環の中で生活しています。私たちは、水の循環を大事にしなければなりません。みなさん、水を大切にしましょう。住民・企業・行政が手を取り、この素晴らしい天竜川水系を、守り育てましょう。

天竜川ゆめ会議事務局
平成14年3月